

2019

四国防災・危機管理 プログラム

SHIKOKU Disaster Prevention and
Crisis Management Education Program



行政・企業・医療防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学)

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、事業継続計画BCPやMCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



行政・企業防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(徳島大学)

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



学校防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学・徳島大学)

地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画(ECP)策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を目指します。



センター長挨拶



四国防災共同教育センター
センター長
白木 渡

香川大学と徳島大学が連携して実施するこのプログラムは、東日本大震災の教訓を踏まえて、また近年多発している地震や水害等の広域災害やグローバル化する危機に対して、迅速な状況把握のもとに適切な判断・意思決定を行い、減災・復旧・復興対応や組織・地域再生においてリーダーシップを発揮できる専門家を養成する取り組みです。この事業は香川県及び徳島県と連携し、実践力を備えた専門家の養成を目指しています。今後四国国立5大学連携事業として展開することを目指しています。

平成24年度に開始した本プログラムの修了生は、平成29年度までに128人を数え、行政、企業、医療、学校の各分野において、職場や地域における防災・減災・危機管理のリーダーとして活躍しています。近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が想定される四国地方においては、防災・危機管理の専門家の養成は必要性かつ緊急性の高い重要な事業であると考えています。関係機関との連携をさらに深く、地域防災力の向上に繋がる事業に参りたいと考えています。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

プログラム概要

本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目標としています。

南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績・成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に防災・危機管理の専門家養成プログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた人材を育成します。

開設授業科目

「四国防災・危機管理プログラム」は、通常の大学における専攻とは異なり、各大学研究科・専攻科横断型のプログラムとして開講されます。コース修了によって各大学研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、プログラムを修了することにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができます。また、コース修了にあたっては、香川大学長、徳島大学長連名の修了証書と四国防災共同教育センター長名の「災害・危機対応マネージャー」の称号が授与されます。

四国防災・危機管理プログラムには、2つのコースがあり、コース修了要件に沿って履修し修得する必要があります。



科目区分	概要
共同実施基礎科目	各コース共通の修了要件科目で構成されています。
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群 (徳島大学)	行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コースの専門に応じた科目で構成されています。
実務演習科目	各コースにそれぞれ対応する実務演習科目で構成されています。

履修について

授業科目の履修は、香川大学又は徳島大学のどちらでも受講することができます。なお、実習科目については、受講場所を指定されることがあります。

時間割

四国防災・危機管理プログラムの授業科目は次の時間で開講します。授業時間割の開講科目を基に受講科目の確認をしてください。

授業時間	16:20 ~ 17:50	18:30 ~ 20:00
------	---------------	---------------

- 1つの授業科目は、1週間に1回、1学期間で16回(週)行うことを基本とします。
- 上記の他に16回の授業をまとめて行う集中講義もあります。
- 遠隔地での授業は、遠隔講義システムを利用し受講します。

募集人員

防災・危機管理プログラム

- 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース(香川大学) 10名程度
- 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース(徳島大学) 10名程度
- 学校防災・危機管理マネージャー養成コース(香川・徳島大学) 今年度は募集を行いません

出願資格

- ①大学を卒業した者又は卒業見込みの者
- ②連携大学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、22歳に達した者

出願手続

- (1) 出願期間
出願の締め切りは香川大学が2月末、徳島大学は2月中旬です。
- (2) 出願書類等
申請者は、表に示す書類を受講希望する大学の学務担当係へ提出してください。
詳細は四国防災共同教育センターホームページの「出願案内」をご参照ください。

申請書類等	概要
受講申請書	所定の様式
入学願書	所定の様式
履歴書	所定の様式
卒業証明書等	最終出身学校の卒業(卒業見込み)証明書
所属機関等の承諾書	所定の様式 在職中の者は提出してください。
業績等の資料	出願資格②により出願しようとする者は、最終学歴の学習・研究・実務の状況が分かる資料を提出してください。
検定料	9,800円
その他大学院が必要と認めた書類	大学院が必要と認めた場合は、上記以外の資料の提出をお願いすることがあります。

- (3) 事前相談、提出場所
出願に当たっては、事前に次の連絡先までご相談くださるようお願いいたします。

【香川大学で受講を考慮しておられる方】
四国防災共同教育センター 事務局
〒761-0396 香川県高松市林町2217-20
TEL (087) 864-2539
e-mail : bousai4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

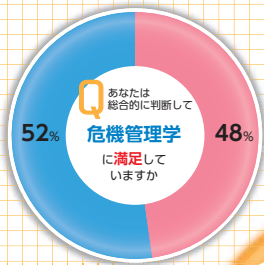
【徳島大学で受講を考慮しておられる方】
徳島大学環境防災研究センター
〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1
TEL (088) 656-8965
e-mail : office@rcmode.net

授業風景

危機管理学



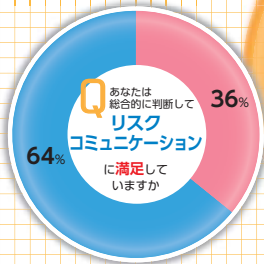
▲雇業災害の失敗原因についてグループワーク



リスクコミュニケーション



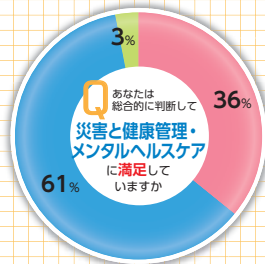
▲リスクコミュニケーションの技法 クロスロード



災害と健康管理・メンタルヘルスケア

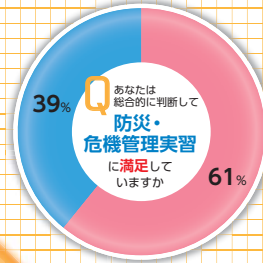


▲心理的応急処置(PFA)研修の様子



実習風景

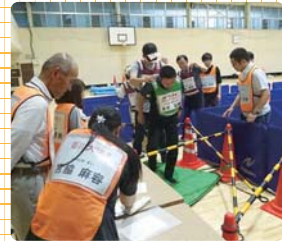
防災・危機管理実習



▲スタートはDIG訓練から

四国防災・危機管理プログラム 多くの受講者に満足していただいています!

- 非常にそうである
- おおむねそうである
- どちらともいえない
- あまりそうでない
- 全くそうでない



▲自ら立案したコースでの避難シミュレーションゲーム



▲避難所運営ゲーム(HUG)の様子



▲実習の締めくくりは総括DIG訓練



▲H30年度 防災・危機管理実習参加者集合写真



修了生は「災害・危機対応マネージャー」として、それぞれの所属する組織や地域で災害・危機対応のリーダーとして活躍しています。



地域 防災活動は地域と住民を守ります。そしてあなたの家族も！

森西 康裕 高松市消防局OB
平成26年度修了/学校防災・危機管理マネージャー、平成28年度修了/行政・企業防災・危機管理マネージャー

受講のきっかけ

私は消防OBの65才です。消防は、発災直後の生命身体の保護が任務であり、命に係わる原則72時間の防災活動です。
退職3年前に東日本大震災を自らの目にし、発災前の「備え」から、被災者の「生活再建」までのシステムを勉強しようと思い受講しました。

受講してみたい感想

様々な経験を持つ社会人と大学院生と一緒に学び、意見を交わし、共に訓練を実践出来たことは、知識として知っているだけの防災ではなく、実践できる防災を学ぶことが出来たと感じています。
プログラムで学んだ様々な訓練やコミュニケーションの手法、またアイスブレイクからワークショップ、振り返り発表へとつながる実践的な企画の立案・運営体験は、地域の方々との実践形式での防災講座の実施へとつながっています。

受講を考えている皆さんへ

退職後、2-3期生として「学校」と「行政・企業」の2つのコースを受講、NPO災害・危機対応支援センター所属の危機管理対応マネージャーとして、防災を目的に地域コミュニティを対象に防災講座などの活動をしています。
この防災講座の受講生が途中で手をあげてスタッフに参加しています。平成28年度は15人の知恵が集まり、コミュニティセンターの事務局がスタッフを笑顔でまもってくれました。このような取り組みを通じて60才から新たな友達が100人出来ました。
ぜひ受講し、防災・危機管理を実践できる仲間になってください。防災活動は地域と住民を守ります。そしてあなたの家族も！

修了後の活動状況

地域コミュニティでの防災講座を、平成30年度は9回開催し継続中です。特色は「全世代に防災を目的に」のものと様々な実践型の取り組みを行っていることで、今年度新たに子育て中のママに参加してもらえよう「育児中に災害どうしよう」を開催しました。
「避難の困難、共に助け合い命を守る」を目標に実践型避難シミュレーションゲーム、女性目線の避難所運営訓練、ローテック防災術としてさきり種や簡易雨量計、室内避難の体験など、実践形式のメニューで町内防災組織と顔の見える連携ができ、笑顔でつながることが出来ました。

笑顔が絶えない
防災講座



医療 院内看護職員に対する災害教育に取り組んでいます

國方 美佐 香川大学医学部附属病院 看護部
平成28年度修了/救命救急・災害医療・公衆衛生対応コーディネータ

受講のきっかけ

私の勤務する病院は災害拠点病院に指定されています。そのため大規模災害発生時には、重症患者さんの多数入院が予測されています。
私は救命救急センターの看護部長として、スタッフに災害教育を行う立場でもあり、自身の災害に関する知識をさらに深め、実際に災害対応にあたるスタッフへ学びを還元したいという思いから受講を決めました。

受講してみたい感想

講義は災害分野で有名な講師陣によって行われ、災害に関する最新の知識を得ることができました。また医療だけではなく、行政や企業、学校関係者による講義もあり、視野を広げることができました。
講義は遠隔講義システムを導入しており、他大学からの講義であっても講師に直接質問できたり、受講生とディスカッションしたりすることが可能となっています。

受講を考えている皆さんへ

四国防災・危機管理プログラムでは、地域や職場において、災害管理のエキスパートとして活躍できる人材の育成を目的としています。大災害はいつ起きても不思議ではありません。災害が起きた時のことを考えると不安ですが、しっかりと準備して備えることで被害を最小限にとどめることができます。備えの一つとして、災害について学ぶことは大変有意義なことと考えます。プログラムの開講時間は社会人に配慮されており、働きながら学ぶことのできる環境が整備されています。ぜひ受講してみてください。

修了後の活動状況

私は救命救急センターのスタッフに対し、より実践的な災害教育に取り組む必要があると考えました。救命救急センターに災害係として3名のスタッフを任命し、あくまで自身は影の支援者に徹して災害係が主体的に活動できるよう支援しました。プログラムで学んだリスクコミュニケーションや危機管理の知識を活かしながら、重症患者の対応にとどまらず、普段からの災害準備やリスク管理の重要性も伝えました。これらの活動はマスコミにも取り上げて頂きました。災害教育を行うことで、スタッフの臨場対応における危機管理能力の向上や、災害係の管理的視点の拡大につながったと実感しています。また今年度からは、病院長看護職員に対し、年固を通じて災害教育を行っています。

災害係の取り組み
取材して頂きました
(2017年7月)



平成28年3月にNPO法人「災害・危機対応支援センター」を設立し、勉強会や訓練、情報提供を行うなど、修了生のフォローアップを行っています。



企業 女性目線で楽しみながら学べる防災講座を目指しています

大宮 佐知子 株式会社ファルコム・徳島市消防団東富田分団
平成28年度修了/行政・企業防災・危機管理マネージャー

受講のきっかけ

10年前に消防団に入団したのが始まりでした。男ばかりの消防団で女性ができる活動はないかと考えて防災士の資格を取りました。その防災士会から送られてきた書籍に「四国防災・危機管理プログラム」のパンフレットが入っていました。防災士を持っていても直接消防団活動に活かすことがなく、模索していた私にはこのパンフレットは衝撃的でした。
出願期限ギリギリだったので1年後に向けて調整をしようとしていたのですが、社長より快諾をいただき、すぐに受講が決まりました。あの時はちょっとだけ運命を感じました(笑)

受講してみたい感想

受講生の中で一番出来が悪かったのではないかと思うくらい11日目は専門用語がわからなく四百八苦しかったです。一番印象に残っているのは2泊3日の防災・危機管理実習です。災害時本当に必要な事を凝縮して教えてもらえるこのプログラムを受講出来て本当に良かったです。
また、わからないことがあれば気軽に下りて下さり、熱心にご指導いただいた先生のおかげで、消防防災科学技術賞を受賞することも出来ました。そしてこのプログラムでの一番の宝物は色々な業種の方々との繋がりが持てたことです。先輩や卒業生の方々との数回同窓会と称した飲み会で語り合うのがとても楽しみです。

受講を考えている皆さんへ

社会人受講生には仕事と勉強の両立でとても忙しい2年間になりますが、進化し続けるこのプログラムを受講することは、自信にもつながりますし、このプログラムで得られた知識や技能は、活動や地域貢献に大変役立つものです。そして何よりの財産である人との繋がりがとても強固です。皆さんと一緒に活動できる日を楽しみにしています。

活動の幅はどんどん
広がっています



修了後の活動状況

近年では、シビックセンターで2-4回防災講座を行っています。単発では、防災士会に依頼があった池田高校辻校の高校生への出前講座を行いました。今後はディケアやシビックセンターの難学大学で防災講座を予定しています。



学校 阿南防災士の会市内のメンバーとして、市内の小学校の防災訓練のお手伝いをしています

野村 誠也 平成28年度修了/学校防災・危機管理マネージャー養成コース

受講のきっかけ

退職前年の3月に東日本大震災がありました。阿南市内の北の臨海岸を校区に含む中学校だったので「いつかここにも大津波が来る・・・」と、教職員だけでなく、生徒や保護者まで地域の住民が強く感じました。平成24年度の学校防災計画に関する職員会議では、実に様々なリアルな意見があり、正しい方向性はなかなか見えなかった事を思い出します。専門的な知識や体験があれば方向性が見えやすと感じていました。

受講してみたい感想

退職してから、町内の会合で「四国防災・危機管理プログラム」の存在を知り、週2回の夕方から夜間の講義ならいけそうだと感じました。前年度から始めた教員OBや、現役教員や徳島大学生もいて、新鮮な気持ちで始めることができました。

受講を考えている皆さんへ

自分だけでは続かない。仲間がいれば続けられます。次世代に繋ぎましょう。

修了後の活動状況

- 自治体主催する地域の防災訓練のサポートを行い、自主防災組織と協力しながら「災害に強い町づくり」に貢献しています。
- 阿南市国際交流協会の日本語教室で「技能実習生等への防災指導」を少しずつ始めました。
- 阿南市小学校の避難訓練をサポートし、「津波が来るぞ一早く逃げろ」と、声だし訓練を行っています。防災士が交代で参加します。

自治体や学校の
訓練を
仲間とサポート



四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧

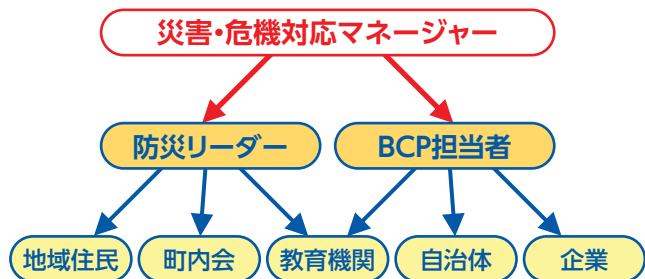
区分	科目名称
共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション 危機管理学 災害と健康管理・メンタルヘルスケア 防災・危機管理実習
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療のリスクマネジメント 事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践
行政・企業防災・危機管理マネージャー養成科目群 (徳島大学)	行政・企業のリスクマネジメント 事業継続計画 (BCP) の策定と実践
実務演習科目	行政・企業・医療防災・危機管理実務演習 行政・企業防災・危機管理実務演習



「災害・危機対応マネージャー®」とは、災害や危機管理に関する知識の享受、助言、情報提供等を行うことが認められた者に授与される民間資格です。「四国防災・危機管理プログラム」(香川大学・徳島大学共同開設)を受講し、修了することで付与される資格です。

「災害・危機対応マネージャー®」は、リスクコミュニケーションや危機管理学といった防災・危機管理に関する基礎科目だけでなく、各養成コースにおける専門的なリスクマネジメントに関する実践的な知識や技術を習得しています。職場や地域における防災・危機管理のリーダーになることを期待されるだけでなく、職場や地域の防災力向上に寄与すること、さらに、研究機関や自治体等との橋渡しも期待されます。

災害・危機対応マネージャーに期待される位置付け



平成26年度(第1期)～平成29年度(第4期)修了人数

コース	内 訳		小計	合計
	社会人	学生		
行政企業	行政機関	30人	99人	128人
	企業	26人		
	学生	43人		
救急救命	社会人	15人	17人	
	学生	2人		
学校防災	社会人	12人	12人	
	学生	0人		

連 絡 先

四国防災 共同教育センター

香川大学創造工学部林町キャンパス
〒761-0396 香川県高松市林町2217番地20
TEL(087)864-2539 FAX(087)864-2554
ホームページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>



香川大学

工学研究科 創造工学部事務課学務係 TEL(087)864-2015
医学系研究科 医学部学務課大学院・入学試験係 TEL(087)891-2075

徳島大学

理工学部事務課学務係 TEL(088)656-7315